

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

2

February
2026

山形県中小企業家同友会

月刊 同友 やまがた



2026 新春交流会



よい会社 よい経営者 よい経営環境をゆびす
中小企業経営者の全国組織

2025年度スローガン

40年の歴史を礎に、
21世紀型企業づくりで地域と共に未来をひらこう

女性部の活動と学びを知り交流を深めよう



12月9日、鶴岡市のそば処つむぎにて、庄内支部と女性部の合同例会として望年会が開催され、ゲストを含む21名が参加しました。

庄内支部では女性/青年経営者の活躍の場を強化するIC (Innovator's Circle) 委員会を設置して活発に活動していましたが「もっと女性部活動のことを知らなければ」という声が高まり、本例会の開催に至っています。

乾杯ののち、笹林女性部会長が女性部の理念と活動を紹介し、「女性部で“運転席”を経験する」「女性の働き方は男性の働き方とセット」と、男性会員にとっても関係の深い部会

であることを呼びかけました。そして、山形から参加した女性部メンバー3名が女性部での体験を報告し、「管理職としての意識変革」「例会での体験交流」「女性部役員としての役割」などの観点から、自身の学びと成長を語りました。

その後、「女全交ミニ報告」と題して、庄内支部から今年度の女全交に参加した2名が第8分科会の学びを報告。自身の経営体験とリンクさせて語られる参加報告に一同が聞き入りました。

そして特別ゲストとして、NHKのど自慢チャンピオン出場、TVCMへの楽曲提供など幅広く活躍する鶴岡市在住のシンガーソングライター綺華さんが出演。参加者は、おいしいお酒と料理に舌鼓を打ちながら、カバー・オリジナル曲を交えた美しい弾き語りパフォーマンスに浸りました。



さくらんぼ支部「さくらんぼ塾」

「人を雇うことのいろ・は」を学ぶさくらんぼ塾を開催



さくらんぼ支部では、今年度全10回にわたる連続講座「さくらんぼ塾」を開催しています。本塾は、ますます複雑化する「雇用」と「労務管理」の基礎を学び直し、社員が安心して働ける環境の土台を固めることを目的としています。講師は、社会保険労務士であり同支部長も務める菊地仁士氏が担当し、専門的な知見から実践的なアドバイスを行っています。

第1講は昨年6月に開講。「社長！自分の会社の就業規則見たことありますか？ますます高まる就業規則の役割と重要性」をテーマに学びあいました。以降、月に1回のペースで集い、年取の壁、社会保険・雇用保険の加入ルール、労働時間、休日・休暇の考え方、さらにはメンタルヘルス対応や解雇ルールに至るまで、講義をとおして雇用の基礎への理

解を深めています。経営者だけでなく人事総務担当者も共に学び、自社の労務環境を改めて見つめ直す機会としています。同友会へのはじめの一步として、ゲストの方にも多く参加いただいています。

菊地氏は「単なる知識の習得に留まらず、学んだことを自社に持ち帰り、よりよい職場づくりへと繋げ、『人を生かす経営』を実践するための第一歩としてほしい」と語ります。

参加者からは「作ってから変えずにいる就業規則を、現在の会社、従業員を守るためのルールになっているかを確認したい」「年取の壁について理解できた。今後のパート雇用の難しさに気づかされた」といった感想が寄せられています。



これからの
さくらんぼ塾

2月26日(木) 15:30~17:00 会場:タントクルセンターミーティングルーム1.2
テーマ:「部下からパワハラと言われるのが怖くて指導できない」

※ご興味のある方は支部の垣根を越え、ぜひご参加下さい。お申し込みはe.doyuまたは事務局まで。

同友会の学びとは？



1月16日、同友会事務局にて「第10回 同友会を知る会」が開催されました。本会は、新会員および入会を検討されているゲストの方を対象に、同友会の理念や組織、活用方法などを知っていただき、例会参加や入会のきっかけとしていただくため、毎月実施しています。

当日は冒頭に、同友会の歴史と理念についての動画を視聴。続いて後藤代表理事から補足説明があり、同友会が生まれた経緯や、現在山形で行われている活動について学びました。その後、秋葉卓哉氏(株)アキバナーセリー 代表取締役社長)より、同友会での学びをどのように経営に活かしてきたかについて、実践報告が行われました。

自分の中に芯をつくる

(株)アキバナーセリーは、バラやアジサイなどの切り花を中心に生産している企業です。花卉業界は、栽培面積がピーク時の平成7年から半減し、産出額も大きく落ち込むなど、厳しい環境に置かれています。さらにコロナ禍が重なり、後継者として悩む中、秋葉氏は2022年に「経営指針をつくる会」を受講しました。

受講を通して秋葉氏が気づいたのは、「自分の覚悟が足りなかった」という点でした。上辺だけを整え、自分の中にぶれない芯がなかったため、社員との信頼関係を築けていなかったと当時を振り返ります。何度も自問自答しながら経営指針を言語化していく中で、自分の中に強い軸が生まれ、会社の方向性を責任をもって語れるようになりました。

また、社員を信頼する覚悟ができたことで、個人面談を行い、不満や要望に耳を傾けるようになりました。「休憩室の絨毯を替えたい」「着替えのスペースが欲しい」「近所の猫の

去勢をしてほしい」など、一見仕事と無関係に思える声もありましたが、改善に取り組む姿勢こそが信頼関係につながると考え、全ての声に何らかの取り組みを行いました。

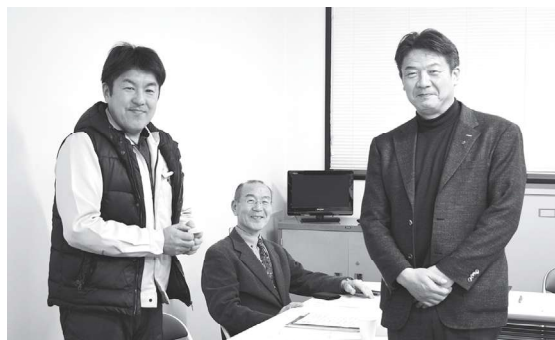
同友会は「あり方」を学ぶ場所

経営指針をつくる会の受講から3年経った現在は、10年ビジョンに「離農者の増加や業界の縮小を防ぐ」と掲げたところから、よい物件と巡り合い事業所を増やすことになりました。秋葉氏は「願いを成文化して、言葉にすることはとても重要。自分たちはこうやっていくんだと思っていると、なぜか良い機会が寄ってくる」と語りました。

最後に「同友会では、答えは教えてもらえない。知ることができるのは『あり方』や『あるべき姿』について。それも、受動的に待つだけではなく、自分から学び、どうありたいかを考え続けることで知ることができる。私も、引き続き学んでいきます」とまとめました。

その後のグループ討論では「現在の課題と将来の展望」をテーマに新会員・ゲストの抱えている経営課題や、会社の未来像について熱く語り合いました。

同友会を知る会は、新会員と入会対象者のゲストを対象に毎月開催されております。各支部でも定期的に行われ、「同友会のことがよくわかった」「入会につながった」と好評をいただいております。お知り合いの新会員さんや、一緒に学びたい方をぜひお気軽にお誘いください。



新会員へのバッジ贈呈

次回の同友会を知る会は

2月24日(火) 15:00~17:00 会場:同友会事務局&zoom

報告者:(株)TOSyOKU 代表取締役 鈴木 啓泰 氏

企業訪問

「爪×美容」「爪×健康」「爪×運動」の 三本柱で日々を彩る企業へ

(株)パレッジ/爪labo BELL NAIL

代表取締役 茂木 菜々絵氏(庄内支部)



(写真右)

茂木氏は、東京の美容系専門学校を卒業後にネイルサロンへ就職。その後、地元志向が高まり鶴岡にUターンするも、当時の庄内にはネイルサロンは数えるほどしかなく、「就職先が無いなら起業するしかない」と、2010年に21歳でネイルサロンBELL NAILを開業。自宅の一角、8畳間のスタートでした。

そこからほどなくして導入したのが、巻き爪ケアをはじめとした、爪のトラブルに対応した健康系メニューです。アスリートのネイルケアを手掛けたことをきっかけに、爪の悩みを持つ方が実は多いことや、医療機関でも対症療法どまりのケースが多く、当事者が誰を頼ればいいのかわからないことに気づき導入しました。爪の専門家ならではのケアを提供しつつ、医療が必要なお客様は医療機関受診につなげるなどして、10年以上にわたって医療と美容の中間を担ってきた実績は、本サロンの大きな強みの一つです。

漠然とした夢が確固たるビジョンへ

競合がいなかったこともあり、業績は開業以来順調に向上。予約も翌月まで入っていることが普通になり、「個人事業としては上限」と思えるほどになりました。

ある会で「茂木さんには同友会が合いそう」と紹介され参加した支部例会で、それまで雲の上の存在だった企業経営者がリアルな課題を率直に語り合う様にカルチャーショックを受け入会。日々の例会で学ぶ中で「仲間を採用すればもっとできることがあるのでは?」「地域社会にどう貢献できるか?」という思いが強まり、「いつかやりたいこと」が際限なく増えていきました。

コロナ禍、採用、移転、出産等を経て2023年には経営指針をつくる会を受講。思いを熱く語りながらも、「BELL NAILさんは何屋さんですか?」「プレイヤーと経営者、どちらになりたいんですか?」の問いに悩み続けました。そして“Colorful your life!”のスローガンから始まる経営指針書を作成。際限なく膨らんでいた漠然とした夢が、指針の成文化を経てビジョンと具体的な行動計画に落とし込まれました。若手スタッフからも「目指すものがあるってワクワクする!」と前向きな声があり、サロンもスタッフ

の声を活かすようになりました。現在、スタッフ発案のメニューも商品化されています。

三本柱の確立に向かって

2025年には法人化。自社の価値観の根幹である“彩り”をつかさどる「パレット」、「中小企業は専門性を尖らせることが大事(今年度定時総会の(株)吉村橋本社長の講演より)」という考えを示す「エッジ」を組み合わせた社名の(株)パレッジを設立しました。当初は節税対策程度に考えていた法人化ですが、経営指針書作成を経て「10年ビジョン実現のためにやるべきこと」「異業種連携、BtoB事業を進めるにあたって信頼できる存在になろう」と、確信をもって臨むことができました。

2026年には移転および新サロンオープンを予定。事業の柱を「爪×美容」「爪×健康」「爪×運動」と位置づけ、それぞれで充実したサービスが提供できるよう、店舗面積を拡大するとともに、フットケア担当スタッフの採用も計画しています。

これまでの変化とこれからの未来

この十数年で外部環境は大きく変化し、かつてほとんどなかった庄内地域のネイルサロンは約30店舗ほど。一方で、ほとんどが自宅等での個人営業のため雇用の受け皿は少なく、またコロナ禍を経てセルフネイルが定着したことで顧客数は減少。業界は岐路に立っています。茂木氏からは「同友会に入らなければ採用はしなかった。経営指針を作らなければ法人化もしなかった。これからは、仲間とともに、ビジョンに向かって当社がやるべきこと、やりたいことを尖らせて、誰も追いつけないところまで行きたい」と抱負を語っていただきました。



2月例会のご案内

山形支部

7人の経営者による公開グループ討論

2026.2.26(木) 18:30~21:00

場所：山形テルサ・リハーサル室

山形市双葉町1丁目2-3 ☎023-646-6677

スピーカー：(株)山形ピックファーム 代表取締役 阿部秀顕氏
城北電気工事(株) 代表取締役 伊藤誠氏
(株)カーサービス山形 代表取締役 小川大輔氏
(有)グッピー園 代表取締役 高橋明氏
(有)ミートの元気商事 代表取締役 中村明美氏
(有)長門屋 代表取締役 笹林陽子氏
(株)サニックス 代表取締役 佐藤啓氏

私たちが同友会で人を生かす経営を学ぶことは、自社の存在価値と会社の未来を見据え、よい会社、よい経営者、よい経営環境をつくることに繋がっています。社員と共に一丸となって社会課題に取り組みながら、互いの幸せのために地域と共存共栄する姿を模索しています。

2月例会では、7人の経営トップで公開グループ討論を行います。どこを見て経営しているのか、何を見据えて行動しているのか。さらに社長の決意とは何か。社長の本音を存分に語っていただきます。

7人の経営者の本音がほとぼしる討論から、経営トップの使命と覚悟、同友会の生かし方などを考えあいます。お誘いあわせの上、是非ご参加下さい。

寒河江支部

新たなチャレンジへの道 ～社員の成長とともに～

2026.2.27(金) 18:30~20:30

場所：寒河江市技術交流プラザ

寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者：(株)リンショウ 代表取締役専務 齊藤貴裕氏

齊藤氏は倒産を経験後、前職とはまったく異なる林業に活路を見出して、(株)リンショウを創業しました。林業は肉体的にも厳しく、山中で危険と隣り合わせの仕事です。そのような中でも齊藤氏は、同友会での学びを生かし、社員が働きやすく、かつやりがいを感じられる職場環境づくりに挑み続けています。

その結果、当初9名だった社員は現在15名に増え、採用の際には社員が自ら知り合いを紹介してくれるような、魅力ある企業へと成長しています。地域の資源や社員の力、そして自分自身を生かして経営に臨む齊藤氏の実践報告から、社員を尊重し、成長してもらうために経営者が何をすべきかを考え合います。皆さま、お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

さくらんぼ支部

タイトル未定

2026.2.27(金) 15:00~17:30

場所：タントクルセンター ミーティングルーム1,2

東根市中央1丁目5番1号 ☎0237-43-1155

報告者：(有)東根東北電化 代表取締役 工藤大輔氏

詳細は追ってご連絡いたします。

置賜支部

未熟な社長に襲い掛かる未知との遭遇！ ～会社が変わる一歩目は、経営者自身の自己変革～

2026.2.20(金) 18:00~20:30

場所：アクティー米沢

米沢市西大通1丁目5-5号 ☎0238-27-7541

報告者：(株)カーサービス山形 代表取締役 小川大輔氏

先代の急逝により社長に就任した小川氏は「経営者の仕事とは何か」が分からず、次々と襲い掛かる未知のトラブルや悩みを遭遇し、一人で苦しみ続けていました。そんな中、同友会に入会し「経営指針をつくる会」での学びを通じて、会社を変えるにはまず自己変革が必要だと確信。以来、決めたことを必ずやり切る姿勢で、徹底した指針経営を実践してきました。現在では、戦略・採用教育・福利厚生など多岐にわたる取り組みが経営指針を軸に社員と共有され、自走し成長する組織がつけられてきています。同友会を使い倒すことで、会社はどう変化するのか?!小川氏の報告から、本場によい会社を目指すため、経営者がすべきことは何かを学びましょう。

庄内支部

経営への思いと現実

2026.2.20(金) 17:00~19:30

場所：にこふる 栄養指導研修室&zoom

鶴岡市泉町5-30

報告者：(株)山形ハーネス 代表取締役 水口 啓一氏

(株)山形ハーネスの代表取締役水口啓一氏より、会社経営に対する思いと現実についてお話しいたします。

水口社長は2016年に事業を承継され、「経営指針をつくる会」を受講して経営理念を刷新。人を生かす経営に本気で取り組んできました。「風通しがよく、働きやすい会社」を目指し、良好な人間関係をつくるために、個人面談やカウンセリング・ハラスメント研修などを導入。

今回の例会には、計画を実行に移す際の難しさ、理想と現実とのギャップ、マネジメントの技術、リーダー育成の重要性など、多くの経営課題を解決するためのヒントがあります。

新庄最上支部

強みを発見→引き出し→差別化！ ～御社は何ができる会社ですか？～

2026.2.24(火) 18:30~21:00

場所：わくわく新庄研修室

新庄市下金沢町15-11 ☎0233-23-0197

報告者：ハンズバリュー(株) 代表取締役社長 島田慶資氏

「最上地域はこれからフロンティアになる。地元の中小企業が今のうちに自社の価値を確立しなければ」打ち合わせでそう語ったのは、報告者の島田氏。旅館等の経営支援に取り組むハンズバリューが重視しているのは、強みを引き出す伴走支援。クライアントの事業を徹底的に掘り下げ、隠れた強みを発見し、その旅館ならではのニッチ戦略につなげています。

本例会では、島田氏から実際の支援事例のご報告と考え方の解説をいただき、その後のグループ討論で自社の戦略に落とし込んでいきます。地域に根差した中小企業だからこそできる差別化に、一緒に取り組みませんか?ゲストさんや社員さんのご参加も大歓迎。お待ちしております!

第9回理事会報告

◆日時:2026年1月14日(水)午後3時00分~午後4時50分 ◆会場:TISカンファレンスルーム ◆議長:庄司副代表理事
◆出席者:(敬称略)阿部、庄司、菅原、川合、後藤、小川、中川、武内、高橋、長谷川、伊藤、鎌水、菊地、中村、東海林、笹林、西塔、志田、井田、本多、島田、大山、佐藤、小寺、平形、小野、原田、大江、事務局矢作、芳賀、青木、上遠野

■開会挨拶

後藤代表理事より「40周年の記念式典を開催し、10年ビジョンの発表ができたことは皆様の尽力のおかげ」と御礼を述べた後、「中小企業家しんぶん(1月5日号)」の広浜会長の挨拶から、「そもそも会社経営は世のため、人のために行うもの。(中略)さらに真の人間尊重を学びながら人を生かす経営を中心に据えて企業活動を行い、それを通じて地域や社会に貢献していくこととしている私たちです。この極めて崇高な営みに、限りない誇りを持って全国的に運動を展開していきたいでしょう」と紹介し、「今年もよろしくお祈りします」と挨拶がありました。

■報告事項

- 1) 中同協第3回幹事会1/9~10(東京)3名参加
菅原代表理事より「記念講演として、アジア中小企業協力機構の黒瀬先生がアジアの中小企業との連携についてお話された。また、海外の経営事例として、独立やノウハウ流出を恐れて社員教育をしない経営の課題も共有され、改めて同友会の人間尊重経営の重要性を確認した。まためではイベントの加藤氏より、同友会のステージが変わったがまだ行動出来ていない部分が課題で、自主・民主・連帯の精神でしっかりと邁進していくとういうお話があった」と報告がありました。
- 2) 北海道・東北ブロック代表者会議1/10(東京)3名参加
菅原代表理事より「岩手全研や宮城青全交についてのPR。また来年度の北海道・東北ブロック支部長地区会長交流会は山形での役員研修会(10月22、23日開催)とし、2027年度から北海道東北ブロック役員交流会の名称で岩手の陸前高田で開催することを決めた。ブロックの情報交流では、岩手同友会が全研を行うことで組織の結束が高まったと報告があり、山形同友会としても全国行事の開催等の検討をする必要があるのではと感じた」と報告がありました。
- 3) 2025年度12月月次報告
矢作事務局より報告がありました。
- 4) 2025年度12月月次決算報告
矢作事務局より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 2名入会 1名退会 502名

■討議事項

議題1:今年度目標達成に向けて

- 1) 組織委員会の報告
菅原代表理事より、各組織の報告から10年ビジョンの達成に向けての協議に入っていることや、参加者の少なさに課題を抱えている委員会があることを確認したこと、今月の新春交流会の目標達成に向けて各支部で呼びかけを行い、ゲスト参加者のフォローを徹底し増強に繋げていくことを申し合わせたこと、金融リテラシー学習会のまとめ、2月の委員会合同例会、3月のAI学習会の企画内容の検討を行ったことなどの報告がありました。
- 2) 今後の取り組みについて
菅原代表理事より、新春のゲストを含め、多くのゲストを2月の「同友会を知る会」にお誘いし、増強につなげていこうと呼びかけがありました。

| 日 | 時 | 会場 | 歴史と理念 | 体験報告 |
|-------|-------|-----------|--------|-------|
| 1月16日 | 15:00 | 同友会事務局 | 後藤代表理事 | 秋葉卓哉 |
| 2月24日 | 15:00 | 同友会事務局 | 菅原代表理事 | 鈴木啓泰 |
| 3月13日 | 15:00 | 同友会事務局 | 菅原代表理事 | 原田由理子 |
| 3月25日 | 14:00 | にこ・ふる(鶴岡) | 後藤代表理事 | 林比呂子 |

議題2:法人化に関する件

- 1) 定款(案)の検討
川合代表理事より定款(案)について説明と提案があり、各支部幹事会でも検討を行い、意見を募った上で次回理事会にて改めて討議することになりました。
- 2) 今後の準備について
川合代表理事より法人化に向けてのスケジュールについて説明があり、質疑応答が行われました。

議題3:第42回定時総会議案作成について

- 1) 2025年度の活動のまとめ骨子案
後藤代表理事より、まとめ骨子(案)の提案があり、継続審議となりました。

2)役員選考について

後藤代表理事より役員選考に関する説明があり、各支部より1名の役員選考委員の選出と理事推薦の依頼がありました。また、役員公募期間を2月13日(金)~2月27日(金)とすることが提案され、承認されました。

3)2026年度予算(案)について

3月理事会で第1次予算案の審議に向けて2月27日(金)までに各支部・各委員会・各支部より予算(案)提出の依頼がありました。

議題4:2026新春交流会について

長谷川実行委員長より、準備状況と参加申込状況の報告があり、目標達成に向けて参加呼びかけの依頼がありました。

議題5:第42回定時総会について

中村理事より下記の開催要項の提案があり、承認されました。

- 日時:4月27日(月) ●会場:ホテルメトロポリタン山形
- 記念講演講師:赤城フーズ株式会社 代表取締役 遠山 昌子氏

議題6:40周年記念事業のまとめ

- 1) まとめ(案)
小川副代表理事がアンケート結果をAI音声で報告し、まとめ案を承認しました。
- 2) 収支報告書
小川副代表理事より報告があり、承認されました。

議題7:第6回東北青年経営者フォーラムin山形の準備状況

東海林理事より、全体の参加目標140名で山形は90名の目標に対し40名の申し込み状況との報告があり、参加呼びかけが行われました。

議題8:山形県教育委員会「やまがた教育パートナーズ」認定申請の件

高橋理事より、「やまがた教育パートナーズ」に山形支部として認定申請することについての説明があり検討が行われました。各支部でも討議した上で、改めて審議することとなりました。

■その他

- 1) 今後の予定
 - ・1月15日(木)~16日(金)2025年度第2回中同協経営労働委員会(東京)
 - ・1月21日(水)第2期事務局アカデミー4講(Zoom)
 - ・1月27日(火)~28日(水)中同協事務局リーダー研修(東京)
 - ・1月27日(火)2026新春交流会(バラスグランデール)
 - ・1月28日(水)経営姿勢確立セミナー第3講(TISカンファレンスセンター)13:00
 - ・2月3日(火)2025年度第2回中同協共同求人委員会(東京)
 - ・2月6日(金)第6回東北青年経営者フォーラムin山形(山形国際ホテル)
 - ・2月13日(金)2025年度第2回中同協社員教育委員会(東京)
 - ・2月16日(月)委員会合同例会(TISカンファレンスセンター)10:00
 - ・2月17日(火)共同求人委員会主催就職懇談会(山形テルサ)14:00
 - ・2月18日(水)2025年度中同協第2回女性部連絡会(Zoom)13:00
 - ・2月25日(火)経営姿勢確立セミナー第4講(TISカンファレンスセンター)13:00
 - ・3月4日(水)AI学習会(TISカンファレンスセンター)14:00
 - ・3月5日(木)~6日(金)第56回中小企業問題全国研究集会(岩手) 目標25名 14名申込
 - ・3月18日(水)~19日(木)北海道東北ブロック事務局長会議(福島)
 - ・3月19日(木)第4回中同協幹事会(Zoom)
 - ・3月27日(金)第2期経営姿勢確立セミナー発表会(TISカンファレンスセンター)13:00
 - ・3月30日(月)経営指針をつくる会30期記念同窓会(山形国際ホテル)16:00
- 2) 今後の常任理事会と理事会日程について

| | | | |
|-----------|---------------|---------|----------------|
| 第10回常任理事会 | 2月4日(水) 16:00 | 第10回理事会 | 2月12日(木) 15:00 |
| 第11回常任理事会 | 3月4日(水) 16:00 | 第11回理事会 | 3月11日(水) 15:00 |

■閉会挨拶

阿部副代表理事より「今年は同友会の一般社団法人化が大きな変化となる。自社の定款を読んだ。定款は法人の基となるものです。同友会の定款案をしっかりと確認して、ご意見をいただきたい。今年も皆さんと明るく過ごせれば良いと思いますので、よろしくお祈りします」とあいざつがありました。

新会員紹介

ほりごめ りょう
◆堀米 亮氏
クリエイティブ山形901 代表
SNSマーケティング
寒河江支部

まつもと ともや
◆松本 友哉氏
合同会社とびしま 業務執行役員
飛鳥・酒田における地域づくり事業
庄内支部・酒田地区

会員変更

- (有)シャルル 店長 林比呂子氏(庄内支部・酒田地区) ⇒ 代表取締役
- ハンズバリュー(株) 代表取締役 島田慶資氏(山形支部) ⇒ 置賜支部

同友やまがた2月号(2026年2月1日発行/通巻395号)

“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL:https://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp